

# 妙たえの光ひかり

通刊54号 復刊33号

2001年3月12日(季刊)

角田山妙光寺 発行

新潟県西蒲原郡巻町

角田浜 〒953-0011

TEL 0256-77-2025

## 本堂・祖師堂落成特集号

昨年五月に着工した  
本堂・祖師堂建て替え  
工事が三月末には完成  
し、行政等の検査をへ  
て四月二日に引き渡し  
されます。落慶式も四  
月二十八日と決まりま  
した。  
そのご案内と、一足  
早く事業の経過報告を  
特集してお伝えしま  
す。

# 経過報告

小川 英 爾

## 発 端

本堂・祖師堂建て替えを検討し始めてから丸六年が経過して、いよいよ完成の運びとなりました。これもひとえに仏天のご加護と、皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます。

そもそもは本堂が築三三一年、祖師堂は一八七年を経て老朽化が著しいものの、建て替えについては誰もが口には出せませんでした。しかし本堂の屋根が修理不能なほどに傷み、雨漏りすることで対応をせまられたことが発端となったのです。放置はできないし、工事すれば屋根の張り替えだけでは済まなくなるとの意見から、全面的な建て替えを皆様に提案することを決めたのが、平成七年三月の役員会議でした。

## 基本計画

以来皆様に理解を求めるとは、基本設計を東京工業大学名誉教授茶谷正洋先生と、中澤敏明設計士にお願いしました。昭和五十六年完成の現客殿を設計されたお二人からは、コンクリートによる楕円のドーム型というまことにユニークな案が提案されました。コンクリートに対する違和感があるものの、坪単価の工事費が安く、防災上の利点もあることから平成九年三月の役員会議で決定しました。

## 計画変更

早速総事業費二億五千万円の趣意書にして、全檀信徒、さらに安穩会員にまで協力をお願いしました。しかし半年後に寄せられた寄付申し込み額は二億円に充たず、さらにコンクリートの耐用年数、維持管理費、木造に対する思い入れから疑問視する声が多くありました。そこで同年秋の臨時役員会議で慎重

な議論の末、二億四千万円への減額と面積を減らしても木造建築にすることで、計画の遂行を決定したのです。

### 施行会社選考

十一年三月、床面積を従来の半分にした集成材の新本堂と、古材を再生使用した祖師堂を回廊で囲む案を採択し、皆様にお伝えしました。この時点で二億二千万円の寄付申し込みをいただきました。十二月、受注申し込みのあった建築会社を九社に絞り見積りを依頼。翌十二年一月の臨時会議で社名を伏して、総金額、見積り内容、施行方法について審議した結果、(株)加賀田組に決定し、二月に契約にいたしました。

### 工 事

五月八日仏具を搬出した本堂で解体の読経、翌九日から解体作業開始、二十五日には更地となり、六月二日地鎮祭をとめました。例年はない好天続きで工事は順調に進み、猛暑の八月十九日上棟式を厳修しましたが、工事関係者、檀信徒、安穩会員、地域の人たちおよそ三百人で賑わいました。秋から冬にかけても申し分ない晴天が続き、文字通り仏天のご加護を実感した次第です。明けて平成十三年冬は十数年ぶりの大雪で最高六十センチの積雪をみましたが、内装工事に支障はなく無事工期内の完成に至ります。

この間大きな工事ですから、大小含め幾つかの工事ミスもありました。しかし常に設計者と十分な協議を重ね、お互い納得のいく解決をみました。施行にあたった加賀田組の担当者は極めて誠実に対処し、その真摯な姿勢は高く評価できるといえます。

### 付帯工事

工事の際して測量と敷地境界の特定、地質調査、杭打ち、地下浸透水を排水する暗渠設備、松等庭木の移植、参道作り替え、納屋の建て替え、防犯設備、これらを一部予定外も含め付帯して実施しました。なかでも浄化槽の作り替えと、手洗い水屋の移転は全く計画にありませんでした。老朽化して今回工事

しないといすぐ続いて問題になるが、その時は工事が困難になるといふ事情がありました。こうしたことを予測して多めに諸経費を計上したこと、不景気が幸いして工事金額が破格に安く押さえられたことで、実施できたといえます。

### 新仏像安置

新しい本堂にはお釈迦様のお像をお祀りしたいとの住職の提案を、役員会儀で議論の上で決定しました。日蓮宗の本尊の形式は明確な規定がなく、わかりづらいという問題があります。社会の混迷、檀家の世代交代で若い世代の寺離れ、一方で妙光寺には安穩廟で新しい人たちが多数集まるようになり、分り易く親しみやすい仏様の形が必要と考えたのです。幸い妙光寺は一般的な日蓮宗寺院と異なり、日蓮聖人をお祀りする祖師堂が独立してあるため無理なくできます。

各地で幾人かの仏師とお会いしたなかで、経験、技量、人柄の面で申し分なく、京仏師の石川真水師にお願いしました。問題の費用は、何度かの話し合いで、「ご住職の友人ということにさせてもらって、ご予算の中でやりましょう」と言っていたいただきました。

しかし脇侍の仏様四体分の予算は最初からなく、住職と仏師二人の生涯の計画にするとしました。そのつもりで皆様にお声がけたところ、あつという間に四体分一千四百万円が集まってしまいました。驚きを越して感激の極みです。お釈迦様像はこのたび完成しますが、四体は継続して二年後の完成になります。

### 資金状況

別頁で会計中間報告しますが、この不景気で短期間でよくぞここまでといえるご協力をいただきました。未だ全額の入金にはいたっておりませんが、寄付申し込みは当初の目標金額にほぼ到達の見通しです。本当にありがとうございます。

しかし最終的には付帯工事による支出超過が五百万円あり不足しています。引き続きご協力をお願いし、さらに仏具を寄付していただく形で超過分の補填を勧めています。詳しくは別頁をご覧ください。

## 完成を見て

二百三十年ぶりの新本堂は、従来の寺院建築から離れた形をしています。これに戸惑う方も多いことでしょう。賛同の声と同時に批判の意見も心して受けとめます。ただ、今の時代で昔ながらに建てることは材料、職人、経費、時間の点でとても難しいといえます。外見だけ昔ながらをまねて建てても、それは本物とは言えません。無理をして昔ながらに立派にすることは、経費的に大変です。

それなら可能な予算で使いやすく、より気持ちのいい建物にして、将来の維持管理も負担の少ないものにしたと考えました。椅子席にして足を楽に、床面積を減らして経費を削減し、大勢のときは回廊の内側でこれまで以上に収容できます。一方で祖師堂に旧本堂をそっくり再現して、昔のお寺のイメージも残しました。

回廊入り口の中門から土足のまま内部に入り、これまで以上に自由にお参りしやすくなりました。開放的で明るい印象を持ちます。その分防犯上の対策をして、以前のような不用心なことはありません。それも維持管理の負担を軽くします。

行事や法事等特別の時だけ行くお寺でなく、いつでも気軽ににお参りしたくなるお寺でありたいと願っています。そのために入れ物はできましたから、今後は内容の充実に力を注ぎたいと考えます。むろん法事や葬儀、結婚式にも、気兼ねなくどんどん利用していただきたいのです。皆様心のこもった浄財でできた本堂なのですから。いつも人が出入りしている、いま以上に活気のある妙光寺にしていきたい、そう願っています。

本堂に厳しい経済環境でのご協力は大変でした。衷心からお礼申し上げます。法便品というお経のなかに、お釈迦様の像を作り、そして供養する人は必ずや成仏する。もし仮に自身でできない人は他人に頼んで代わりにやってもらっても、その人は成仏する。との一説があります。皆様は全員その資格を得たこととなります。ありがとうございます。

# 落慶法要のお知らせ

陽光あふれる四月、いよいよ「本堂・祖師堂新築落慶、釈迦牟尼佛像入佛開眼 天童音楽大法要」を営みます。全檀信徒、安穩会員、ほか関係の皆様（総数で七百五十人）にご案内しました。多数の皆様のご出席をお待ちしています。ぜひお出かけください。

## (1) 期日と日程

・四月二十八日（土）

受付

午前八時四十五分～九時四十五分

お練り・仏像安置

〃 十時（稚児行列、シンセサイザー・雅楽演奏、舞い）

音楽大法要

〃 十時四十分（式衆二十名出仕）

祝宴

正午（回廊に囲まれた庭、院庭にて）

## (2) プログラム

・お練り お釈迦様像を角田浜の大滝剛さん宅からお運びし、山門から式衆、音楽、天童（稚児）の行列で新本堂へお迎え。大勢の手で台座に安置します。

・天童 募集した十人の稚児たちが、妙光寺古来の衣装で出仕します。

・音楽 シンセサイザーでこの日のために作曲した曲を生演奏します。作曲、演奏が、北海道旭川市在住のジャズ音楽家佐々木義生さんの特別奉納です。雅楽と舞いは、昨春秋ヨーロッパ

公演を成功させた在京の若い雅楽士、平井裕子（龍笛）、中村仁美（篳りき、舞）、早川順子（笙）の三方です。

・式衆 日蓮宗の若い僧二十名が出仕。寺院は来賓も含め四十人になります。

### (3) 申し込み

・会費制（五千円）にしました。世話人のいる地区は会費を添えて世話人にお申し込みください。それ以外の地区、安穩会員の方は同封の振り替え用紙に必要事項をご記入のうえ、お近くの郵便局から早目で恐縮ですが四月十日必着でご送金ください。お手数ですが送金料七十円のご負担をお願いします。

・お申し込み後のキャンセルはお電話でお知らせください。後日返金します。

### (4) その他

・県外、新潟市等県内でも遠方の方のために、越後曾根駅九時発で送迎バスを用意します。新潟駅発七時五十九分の越後線が接続します。お帰りは越後曾根駅十四時五十七分↓新潟駅着十五時二十九分に。また柏崎方面からの接続も考慮しています。送迎バスご利用の方は、振り替え用紙へのご記入をお忘れなく。

・法要、祝宴ともに屋外です。テントも計画していますが、天候によっては風が冷たいことも予想されますので、服装を考慮しておいでください。また荒天で日程を大幅に変更せざるを得ず、ご迷惑をおかけすることもあるかと思われます。その際はご容赦の程お願いいたします。

・翌二十九日には伝統の「ご判さま」行事があります。こちらもぜひお参りください。

# 天童(稚児)稚児募集のお知らせ

落慶法要(二十八日土曜)と例年の「ご判さま」(二十九日日曜)に出仕する天童(稚児)を募集します。お釈迦様像、日蓮聖人の「ご判」をお迎えする行列と大法要に出仕し、身体健全、発育増進、学業増進をお祈りします。

・期日 四月二十八、九日(二日間) 午前九時集合、昼前解散。

・対象 六〜七才くらい(小学校新一年生か入学前年位) 檀

家、日蓮宗に限りません。どなたでも。これまでに、外孫、安穩会員の子供、孫、県外から等々があります。

・定員 男女合わせて十人。定員になり次第締め切ります。

・申込 地区世話人が直接妙光寺へ。子供の名前と年齢を知らせてください。

・費用 五千円を当日お持ちください(記念写真、記念品、二十九日の昼食が付きます)

・衣装 子供…衣装は一式ありますので、少し厚めの下着と白足袋だけ用意してください。





- 他 付添：一緒に行列と記念写真があります。着物かスーツ、ワンピース等の礼装で。毎年のお稚児さんですが、今年は本堂落慶で特別の記念すべき年です。特に年長者には祭文を読んでもいただきます。早目の申込お待ちしております。

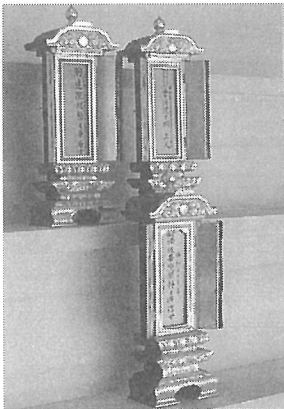
## 新規 位牌檀 安置のご案内

位牌檀とは、各家のお位牌をお寺にも安置して毎朝読経し、命日ごとに供養するものです。

これまでの位牌檀は本堂の裏手に増築したもので暗く、しかもわかりにくい場所になりました。このたびの建て替えを機に、前面の本堂と祖師堂の中間で、いつも参詣の目にふれる位置にしました。

そこでこれまで曖昧なままできた年間の志納金額を、改めて設定しましたのでご案内いたします。お申込はどなたでも、随時お受けします。

- 一基当り一年間一万二千元（毎年一月から三月の間に納めていただきます。今年分は五千元をお申し込み時にお願ひします）
- 一基分のお位牌に夫婦、家族等複数の戒名を納めます。
- お位牌は統一したものを使用しますので、新規お申し込みのときのみ、お位牌代金の一万三千元が必要です。
- 以前からお預かりしていた八十軒の方には、継続されるか否かを個々に確認します。



収支状況 おかげさまで

寄付収入目標額の二億四千万円に到達できそうです。本当にありがとうございます。ありがとうございました。しかし支出が四百三十万円の超過のため、差引六百万円の不足です。引き続きご協力をお願いをしています。

銀行借入 工事業者への支払いのため、未入金を含めた不足金は銀行借り入れします。五十回分割納入の方以外で、まだ未

## 本堂・祖師堂新築事業会計中間報告

平成 13 年 2 月 3 日現在

収入の部 妙光寺本堂工事委員会

項目	予算額	決算額	増減	適用
寄付金	243,400,000	187,891,941	55,508,059	
雑収入	0	3,266	3,266	
合計	243,400,000	187,895,207	55,504,793	

未収金総額

寄付申込総額 238,122,500 - 収入総額 187,891,941 = 50,230,559

支出の部

項目	予算額	決算額	増減	適用
本体建設工事費	150,150,000	90,000,420	60,149,580	
追加工事費	10,248,000	0	10,248,000	
外溝造園工事費	26,902,000	2,392,787	24,509,213	
仏像々仏費	10,500,000	7,000,000	3,500,000	
仏具費	10,500,000	2,050,000	8,450,000	
設計管理費	12,000,000	8,500,000	3,500,000	
法要費	5,250,000	316,928	4,933,072	
貸出金	0	8,978,537	8,978,537	妙光寺護持会へ貸し出し
雑費・予備費	17,850,000	9,403,344	8,446,656	事務費、交通費、事前準備費
合計	243,400,000	128,642,016	114,757,984	

不足金額

寄付申込総額 238,122,500 - 支出予算総額 243,400,000 = 5,277,500

納金のある方は四月末をめどにお願いします。

本堂工事寄付金口座 第四銀行西川支店 普通1130346 妙光寺本堂工事委員会

### 仏具奉納

新本堂に仏具を奉納したいとの申し出を何件かいただきました。仏像のときと同様に、特別寄付としてそれぞれにお名前を記します。これは不足金の補填にもなり大変ありがたいお話ですので、さらに広くお声がけさせていただくことにしました。左記の仏具で未定分にご協力いただける方は、お申し出いただきたくお願いいたします。

本堂前机…一〇万円（巻町・内藤喜作）

五色幕…十七万円（巻講中）

染抜き幕…十三万円（升湯講中）

白幕…七万円（角田講中）

七面天女、鬼子母神、三十番神、八幡大菩薩、御簾（みす）計四枚…一枚

四万円（七面天女に升湯・石田

美枝。残り三枚は未定）

本堂焼香台…十万円（松山講中）

-----

小旗三十枚…一枚当り三千元（二十九枚未定）

礼盤（らいはん）と言って住職の上がる白…

一六〇万円（未定）

礼盤の上に乗せるお経箱等の仏具数点…

各五万円（未定）

緋毛氈…十万円（未定）

手洗い水屋（柱が腐って危険なため、解体移築

しました）…一七〇万円（未定）

### 寄付者名

このたびの事業にご協力いただいた方全員のお名前を、和紙に書いた名簿でお釈迦様の胎内に納めます。またそれとは別に、希望があり木札で回廊に掲示する形を検討中です。ただし五万円以上とします。

## 愚安亭遊佐「ひとり芝居」

## 中国団体旅行計画

昨秋のお会式で好評でした「ひとり芝居」ですが、またまた新作の初演を新本堂前の中庭、院庭で演じられます。

昭和四十九年、最後の住人の転出でその火を消した巻町の角海浜集落。その歴史は江戸時代能登半島からの移住に始まり、「北前船」や「毒消し売り」に沸いた時代もありました。しかし海岸線の侵食で衰退し、過疎化の波に洗われ、そして原発計画を機に長い歴史の幕を閉じました。

そこに生きた故川口ヨノさんの生涯を実名のまま、愚安亭遊佐さんが芝居にしました。愚安亭さんは一年の文化庁芸術祭演劇部門優秀賞に輝く実力派で、現在加茂市に住み全国で講演活動を続けています。

実行委員会が主催して、四、五百人規模の観客を想定しています。お出かけください。

期日 五月十九日（土）午後七時開演

詳細は妙光寺にお問い合わせください

平成九年、上海経由で西安の草堂寺に参拝する二十三名の団体旅行を実施して以来、ぜひまたという声があります。しかし本堂工事やら不況でなかなか計画できませんでした。

このたび左記のように概略で企画してみましたので、関心があるという方はお知らせください。人数の見通しが立てば具体化します。

行先 シルクロード八日間 仏教遺跡を訪ねて

（敦煌、ウルムチ、西安他）  
新潟空港午後発着ですので、県外の方も当日集合、当日帰宅が可能

です。

期日 十月後半

費用 二十〜二十二万円程

人員 十名以上



「はる」



小川 なぎさこ

小春日和の暖かな日、用事があって草むら歩きしていました。二か月近くもこんな暖かい日がなかったので、太陽の温かさを忘れかけていた矢先に、春を迎えるという喜びを思い出しました。遠く

の方からお友だちがビニール袋をぶらさげて歩いてきます。私の前に立ち止まると袋のなかからふきのとうを差し出して嬉しそうに笑いました。「はい、もうこんなに大きくなっていたの。」

先日、四十年も昔の角田の春のお話を聞きました。

今のワイン蔵のある辺りは今のようにならずに平坦ではなくて、もつと山だった。その先の中学へ通じている道からは春になるととても美しい景色が見えた。菜の花

畑の黄色、麦畑の緑、そしてあちこちの畑にそって植えられている桃の花のピンク色。その光景は、住職も通ったという今はもう閉校になってしまったその中学の校歌に歌われていたのだという。それほど美しい春だったと。

今でもなだらかに広がる畑、そのむこうに広がる水田。角田山が鎮座している様子は、四季折々の美しさがあります。が、日常にその事を意識することはあまり無いように思います。私たちの生活はあまりにもあわただしく、田舎ゆえの自家用車の普及が、歩くことや、バスの車窓から景色を見るゆとりを少なくしてしまっただけです。

走りつづけているような生活を

がら、より快適な暮らしを求めながら、昔の話に感激し、羨ましいと思うのはどうしてなのでしょう。後戻りすることなく、先へ先へと流れる時間は今というこの時も、いつかは昔のこととして語られることでしょうか。どんな風に思い出すのか、楽しみでもあり、恐ろしくもあり。

新年から十年日記という分厚い日記帳をつけ始めました。ここにはあまり自分の感情を書かず、客観的にその日の出来事などを記録することにしました。この「寺庭から」が十年先も続いているら、何か懐かしいエピソードが紹介できるといいなと思いつながら。

友人がふきのとうを分けてくれた日も書き込みました。行事の献立なども書くつもりです。そしてしばらくは新しい本堂に関係した記録が多くなるかも知れません。

墓地のまわりの八重桜が満開になるころ、いよいよ本堂の落慶式です。四月二十八日、もう少しです。

# 行事案内

## 春のお彼岸中日法要

三月二十日

午前十時半 安穩廟法要

十一時 彼岸会中日法要

十二時 おとき

午後 一時 説教(山主)

境内の梅、藪椿が咲きはころびます。建物は完成して見学できますが、仏具の飾り付け、造園等が四月に入ってからです。仮本堂での最後の法要、お出かけください。

どなたでもお昼のお齋(とき)に着いていただけます。広間の受付帳場にお申し込みください。

## ご判様用小のぼり旗奉納のお願い

四月二十九日のご判様当日、参道に立てる紅白の小のぼり旗が古くなったので新調しました。お名前を書いて奉納します。ご協力ください。七面様ののぼり旗は一年ごとですが、こちらは十年以上使えます。

一本(竿代込み)・・・三千元(三十本限)

## ご判様お開帳大会(だいえ)

四月二十九日(日曜・祭日)

午前八時半 受付開始

九時 説教

十時 奉迎お練り

十時半 山門法要(稚児、音楽)

十時四十分 水行 お加持

十二時 説教、御開帳、おとき

午後一時半 施餓鬼法要

二時半 祖師堂御開帳

三時 終了

事前に志納金袋と祈願・施餓鬼法要の塔婆の申込書を配布します。祈願は午前の大法要で、塔婆は午後の施餓鬼法要で読み上げます。お申し込みください。今年、巻・割前地区の年番ですが、新本堂で体制が変わるため来年に送り、世話人が努めます。角田地区には例年通り、幟立て、輿かつぎをお願いします。

あ・と・が・き



十数年ぶりの大雪の冬でした。雪の少ない妙光寺でも、一時は六十センチもあり、雪景色を堪能しました。皆様の所は如何でしたか。

春がきて新本堂・祖師堂の工事もお知らせの通りです。工事の追い込みが急ピッチで、さらに落慶法要の準備でてんでこ舞いしています。さすがに体が持ちこたえるのか、少々心配になっています。それにしてもこれだけの大事業が、ここまでスムーズに進んでくれたことに改めて驚き、本当に感謝の気持ちで一杯です。皆様のお気持ちがあひしひしと伝わってくるのが、なによりの喜びです。新生妙光寺のスタートを実感しています。

小川